

計画事業番号	00306	事務事業名	学力向上推進事業	担当部署	教育部学校教育課	電話	内線4822
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	--------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等				
事務事業開始年度	平成23年度		個別計画等	北広島市教育基本計画2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 1 節) 「生きる力」を育む学校教育の推進	
	(施策 3) 確かな学力を育てる教育の充実	
2 対象	市立小中学校の児童生徒	
3 目的と内容	市全体の学習状況を捉え、本市の課題を明らかにするとともに、子どもの学習意欲を高める指導内容や個に応じた指導方法の工夫・改善について研究、実践に取り組み、学力向上の指導の充実を図る。	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	<ul style="list-style-type: none"> 標準学力検査(NRT)の実施 小学校2～6年 国語・算数の2教科 中学校1年 国語、数学、社会、理科の4教科 中学校2～3年 国語、数学、社会、理科、英語の5教科 全国学力、学習状況調査への参加及び結果の分析
	29年度	<p>昨年度と同様であるが、</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準学力検査(NRT)の実施 小学校2～6年 国語・算数の2教科 中学校1年 国語、数学、社会、理科の4教科 中学校2～3年 国語、数学、社会、理科、英語の5教科 全国学力、学習状況調査への参加及び結果の分析

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
標準学力検査の実施 全国学力・学習状況調査への参加 学力向上PTの開催	<ul style="list-style-type: none"> 標準学力検査の実施 全国学力、学習状況調査への参加 上記の結果を分析し、各学校、市内全体の指導方法の改善 学力向上サポートセミナーの開催 	標準学力検査の実施 全国学力・学習状況調査への参加 学力向上PTの開催	標準学力検査の実施 全国学力・学習状況調査への参加 学力向上PTの開催	標準学力検査の実施 全国学力・学習状況調査への参加 学力向上PTの開催	標準学力検査の実施 全国学力・学習状況調査への参加 学力向上PTの開催	標準学力検査の実施 全国学力・学習状況調査への参加 学力向上PTの開催	標準学力検査の実施 全国学力・学習状況調査への参加 学力向上PTの開催

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	児童生徒の学力状況を経年で把握し、分析結果をその後の指導に活用する必要がある。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			5,234		5,347		5,474		5,474	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	5,234		5,347		5,474		5,474	
	① 合計	5,234		5,347		5,474		5,474		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	840	0	840	0	840	0	840	0	
総事業費①+④			6,074		6,187		6,314		6,314	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 標準学力検査結果をもとに学校改善プランを策定した学校数	目標値	校	16	16	16	16
		実績値		16			
	②	目標値					
		実績値					
③	目標値						
	実績値						
④	目標値						
	実績値						
成果指標	① 小学校標準学力検査偏差値 国語、算数の合計累積偏差値平均	目標値	-	50	50	50	50
		実績値		51.3			
	② 中学校標準学力検査偏差値 5教科の合計累積偏差値平均	目標値	-	50	50	50	50
		実績値		51.0			
③	目標値						
	実績値						
【指標の定義(算式等)】							

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	学力向上を図るため、指導内容の充実、指導方法の検討を行う基礎資料として、児童生徒の学力状況を把握することは必須である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	標準学力検査によって経年変化の把握ができ、全国学力・学習状況調査によって全国との比較による客観的な学力状況、学習環境を把握し、指導方法の改善を図っている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	各学校では検査結果を分析し、学校全体としての改善プランの作成や児童生徒個々の指導方法に工夫を行い、学力向上を図っている。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	経年で把握することにより、児童生徒の学力状況をとらえる基礎資料となることから、継続していくことが必要である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---